

オーストラリア夏期英語研修報告書

人文社会学部人間社会学科 3 年 池上朋花

・授業について

日本で事前に受けた英語のテストの結果でクラス分けがされており、私は 15 人ほどのクラスで授業を受けました。クラスの 8 割が他大学も含めた日本人で、他にはベトナム、中国出身の留学生がいました。Writing、listening、speaking をメインに勉強しました。日本では注意されていなかった発音の間違いを指摘され、授業内で何度も練習するなど、新たな学びが沢山ありました。また、先生がオーストラリアの文化や生活について楽しくお話をしてくださりとても勉強になりました。クラスの雰囲気としては、先生と生徒の距離が近くリラックスした雰囲気で、質問も気軽に出来ました。

・ホームステイについて

私のホームステイ先は、中国出身のご家族でした。ご両親と 5 歳の女の子の家庭で、犬が 2 匹いました。夕食は大皿で中華料理を作ってくださり、円卓を使ってにぎやかで楽しい時間を過ごしました。日本での生活やその日の出来事を質問されたり、オーストラリアや中国の文化について教えてもらいました。私の英語力が足りずうまく伝わらないこともありましたが、話すスピードが遅くてもしっかり最後まで聞いてくださるので何とか会話することが出来ました。

・自由時間について

平日は授業が午前中で終わることが多かったので、バスでシドニー中心部へ遊びに行くことが多かったです。シドニーにはオペラハウスやダーリングハーバーなど観光地がいくつもあるので、何度行っても楽しめる場所でした。また、現地で出来た友達と大学の近くで食事することもありました。



・おわりに

行く前は不安が多かったですが、ホストファミリーや大学の先生、バディプログラムを通じてできた現地の友達や首都大の研修生の仲間など、多くの人に支えられて貴重な体験ができました。分からないことが多いとき、英語で話すことを恐れず積極的に質問するなどコミュニケーションを取れば、多くの人が助けてくれることを学びました。感謝の気持ちや仲良くなりたいという気持ちを率直に表現したいと思う場面が多かったですが、英語能力が足りずうまく表現できなかったのが残念でした。自分で学習できる部分については日本に帰ってより努力しなければならないと感じました。